

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 6 区分
【発行日】令和 4 年 2 月 9 日(2022.2.9)

【公開番号】特開 2020-117311(P2020-117311A)
【公開日】令和 2 年 8 月 6 日(2020.8.6)
【年通号数】公開・登録公報 2020-031
【出願番号】特願 2019-140838(P2019-140838)
【国際特許分類】

B 6 5 D 6 5 / 4 0 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

B 6 5 D 6 5 / 4 0 D B R Q

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 28 日(2022.1.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

紙基材の少なくとも一方の面に少なくとも 1 層のヒートシール層を有する包装用紙であって、前記ヒートシール層がアイオノマーのみからなり、前記ヒートシール層が 1 層以上の顔料塗工層の上に設けられ、前記ヒートシール層の乾燥塗工量が全層で $2 \sim 10 \text{ g / m}^2$ であることを特徴とする包装用紙。

【請求項 2】

一方の面のみに顔料塗工層を有し、顔料塗工層が設けられていない面にヒートシール層を有する包装用紙であって、前記ヒートシール層がアイオノマーを含み、前記ヒートシール層が片面に 2 層以上形成されており、前記ヒートシール層の乾燥塗工量が全層で $2 \sim 10 \text{ g / m}^2$ であることを特徴とする包装用紙。

30

【請求項 3】

前記ヒートシール層が少なくとも一方の面に 2 層以上形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の包装用紙。

【請求項 4】

透気度が 10000 秒を超えることを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れか一つに記載の包装用紙。

【請求項 5】

前記アイオノマーがエチレン・メタクリル酸共重合物の金属塩であることを特徴とする請求項 1 ～ 4 の何れか一つに記載の包装用紙。

40

【請求項 6】

前記ヒートシール層がアイオノマーのみからなることを特徴とする請求項 2 に記載の包装用紙。

【請求項 7】

紙基材の少なくとも一方の面に顔料塗工層を塗工し、その後、
アイオノマーエマルジョンのみからなるヒートシール層用塗工液を調製する工程と、
紙基材の少なくとも一方の面に、前記ヒートシール層用塗工液を固形分換算で $2 \sim 10 \text{ g / m}^2$ の範囲で塗工する工程とを有する包装用紙の製造方法。

【請求項 8】

紙基材の一方の面に顔料塗工層を塗工し、その後、

50

アイオノマーエマルジョンを含有するヒートシール層用塗工液を調製する工程と、顔料塗工層が設けられていない面に、前記ヒートシール層用塗工液を固形分換算で $2 \sim 10 \text{ g / m}^2$ の範囲で塗工する工程を 2 回行うことを有する包装用紙の製造方法。

【請求項 9】

前記紙基材の平滑度が 10 秒以上である面に、前記ヒートシール層用塗工液を塗工することを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の包装用紙の製造方法。

【請求項 10】

前記アイオノマーエマルジョンが自己乳化型エマルジョンであることを特徴とする請求項 7 ～ 9 の何れか一つに記載の包装用紙の製造方法。

【請求項 11】

前記ヒートシール層がアイオノマーのみからなることを特徴とする請求項 8 に記載の包装用紙の製造方法。

10

20

30

40

50